

兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS
2008.10

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

発行
兵庫県議会議員 **内藤ひょうえ** 事務所
〒679-1103
多可郡多可町中区牧野30
TEL.0795-20-7186
FAX.0795-32-2793

県政への
ご意見ご相談は
お気軽に

地域活性化へ地道な活動を継続

北播磨は実りの秋を迎えています。皆さん、お元気で過ごしてはいかがでしょうか、お伺い申し上げます。

さて、私は9月24日から開かれた第296回定例県議会で決算特別委員を務めました。この県議会での焦点は、新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）で、決算特別委員会でも様々な施策について、これまでの取り組みと今後の方針を県

当局にただしました。原案通り議決はしましたが、行革を着実に実現するよう、必要に応じて厳しく意見を述べなければならぬと考えます。

ふるさと北播磨の活性化に向けては、地場産業のブランド化や中小企業への融資制度の充実、企業誘致の推進など課題が山積しており、決算委員会でも施策の充実を訴えたところでは

幸い、国の補正予算を活用し、中小企業への貸付要件緩和と融資目標額が300億円から473億7千万円に引き上げられました。

しかし依然、課題解決への道のりは険しく、一朝一夕にできるものではありません。継続した地道な活動にこそ解決の糸口があると確信し、歩んでまいりますので、一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。



決算特別委員として持論を主張

第296回定例県会で集中審議

内藤兵衛県会議員は、10月2日、平成19年度一般会計決算案や新行革プランなどを審議する第296回定例県議会本会議で決算特別委員に選ばれました。12日間におよぶ



集中審議の中で、①企画県民部②健康福祉部③産業労働部④農政環境部⑤公安委員会⑥病院局の施策について意見を交えながら質問に立ち、県当局の的確な対応を求めました。

予算特別委員に続き、活躍の舞台さらに

新行革プラン 郡部県民局の充実強化を事業所として存続へ 多可土木事務所

新行革プランについて内藤県議は「市町と県民局の関係を改めて検証し、役割・体制のあり方や必要な見直しを進め、県民ニーズや地域課題により的確に対応できるように機能充実が必要」と述べ、特に郡部の県民局を中心に機能を充実するよう求めました。

県は、新行革プランの

着実な推進とともに委員会の設置による検証の継続などで対応し、現地解決型の総合事務所としての機能を発揮していきたいと答えました。

安全と安心の確保最優先に

北播磨県民局では、原則に沿って多可土木事務所が統合・再編の対象と

なりましたが、「多可土木事業所」として存続することが決まりました。

「管轄区域が広く、今後一定の事業量が見込まれる地域」に当たると判断されたものです。これによって事業の工事設計・施工・監理等が続いて出来るようになりました。

県議会行革特別委の意見だけでなく、内藤県議も所属する常任委員会や自民党議員団による行革プロジェクトチームなどを通じて県当局に強く訴えてきただけに、「地域の方々の安全と安心の確保が何よりも最優先されなければなりません。本当に良かった」と安堵の思いを強くしています。

建設常任委員会で道路建設現場を視察し、職員から説明を受ける内藤兵衛県会議員



地域課題解決へ思い熱く

シカ被害軽減へ対策強化を

内藤県議は、北播磨地域のシカによる農林業被害額が平成19年には6400万円と、5年前(平成14年)に比べて倍増していることを指摘し、「農家の方々に大きな打撃を与えており、営農意欲の減退による耕作放棄などにつながりかねない」として、実効性の高い対策の強化を求めました。

県は、多可町をモデル地区として獣害に強い集落づくり

を進めています。内藤県議は、より即効性のある対策を

求めました。これを受けて、県は「地域内で対策の効果が期待できるような具体的方策を検討していく」との方針を明らかにしました。

播州織の販路拡大急げ

最盛期には1450社を数えた企業数は、現在315社と大幅に減少している一と播州織産地の厳しい現状を説明する内藤県議。「高級シャツと言え

ていく必要がある。また、新たな商品開発や中国沿岸部の富裕層への販路拡大に取り組むなど強力な支援をいただきたい」と訴え、県は「支援体制を具体的に検討していく」と約束しました。

内藤兵衛 Photo Report



▲多可町観光交流協会が県立なか・やちよの森公園で始めたレンタサイクルのプレオープンを祝ってテープカット(10月5日)



▲9月1日には金ゴマやクレソンの水栽培、山田錦の有機栽培をしている農家を訪れ、意見などをお聴きしました(黒田庄町黒田の金ゴマ栽培農家の方と)



▲多可町喜寿敬老会では、今後とも健やかな生活を願いながらあいさつしました(9月15日)



◀加美区岩座神で開かれた棚田コンサート。屋台のヤキソバも堪能(9月28日)



▼安田稲荷神社で行われた秋祭りに飛び入り参加し、地域の皆さんとともに神輿を担ぎました(10月12日)



▼NPO法人あきら多可設立披露式典で、期待を込めてあいさつ(8月20日)



質問項目一覧

【10月8日 企画県民部(企画財政局、管理局、教育・情報局情報政策課、防災企画局、災害対策局)】

①現地解決型総合事務所としての県民局のあり方=19年度の取り組みと評価▷行革を踏まえた今後の方針

【10月8日 企画県民部(政策担当部長所管)・部外局】

①振り込め詐欺による被害の未然防止
②家庭応援施策の推進
③21世紀兵庫長期ビジョンの推進=地域夢会議の開催状況と果たしてきた役割▷ビジョンの取り組みへの参画の拡大

【10月9日 健康福祉部】

①障害者(児)支援
②発達障害の早期発見、支援対策
③子育て支援
④医師不足と地域医療の連携
⑤健康ひょうご21県民運動の取り組み

【10月10日 産業労働部・労働委員会】

①地場産業(播州織)の活性化
②中小企業の支援
③観光振興=外国人観光客の誘致▷新たな観光資源の掘り起こし
④企業誘致の推進

【10月10日 公安委員会】

①地域の安全を守る駐在所の取り組み
②子どもを犯罪被害から守るための対策
③高齢者が関わる交通事故の防止対策
④地域における交通安全協会の役割と実態

【10月14日 農政環境部】

①シカの被害対策
②地産地消の取り組み
③環境創造型農業の取り組み
④県民緑税を活用した「災害に強い森づくり」の整備推進
⑤森林の適正な維持管理
⑥バイオマスエネルギーの利活用=木質チップの利活用▷ナタネ由来のBDF(バイオディーゼル燃料)の利活用

【10月17日 病院局】

①地域医療連携の考え方と取り組み
②病院経営の課題と対策=収益の確保に向けた取り組み▷給与費の見直しと今後の取り組み▷材料費縮減の取り組みと実績
③医療安全対策の方針

内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

・昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生、50歳
・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業/私立天理高校卒業/国立大阪大学法学部卒業
・昭和57年、(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。

・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート。産業労働常任委員、建設常任委員、県会予算特別委員、決算特別委員
・自民党兵庫県連組織副委員長
家族：母、妻、一男
趣味：読書、スポーツ
好きな言葉：一日生涯